

第59期

決算公告

岡三アセットマネジメント株式会社

# 貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	14,004,243	流動負債	1,028,018
現金預金	12,540,483	預り金	20,342
貯蔵品	587	未払金	708,338
前払費用	92,173	未払償還金	5,001
未収還付法人税等	30,079	未払手数料	698,571
立替金	666	その他未払金	4,765
未収委託者報酬	1,311,125	未払費用	239,029
未収運用受託報酬	10,800	未払法人税等	16,738
未収投資助言報酬	11,876	未払消費税等	31,221
未収収益	6,452	賞与引当金	12,348
固定資産	1,669,275	固定負債	410,823
有形固定資産	205,229	退職給付引当金	293,279
建物	184,641	役員退職慰労引当金	5,620
器具備品	20,587	資産除去債務	93,410
無形固定資産	32,241	繰延税金負債	18,513
ソフトウェア	30,119		
電話加入権	2,122	負債合計	1,438,841
投資その他の資産	1,431,804	純 資 産 の 部	
投資有価証券	1,121,024	科 目	金 額
差入保証金	257,258	株主資本	14,078,778
前払年金費用	53,042	資本金	100,000
その他投資	480	資本剰余金	11,467,068
		その他資本剰余金	11,467,068
		利益剰余金	2,511,710
		利益準備金	179,830
		その他利益剰余金	2,331,880
		繰越利益剰余金	2,331,880
		評価・換算差額等	155,899
		その他有価証券評価差額金	155,899
		純資産合計	14,234,677
資産合計	15,673,519	負債・純資産合計	15,673,519

(記載金額は千円未満を切捨てております。)

## 損益計算書

〔 2022年4月1日から  
2023年3月31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金	額
営業収益		9,160,569
委託者報酬	9,113,651	
運用受託報酬	19,318	
投資助言報酬	27,600	
営業費用及び一般管理費		8,876,884
支払手数料	4,285,941	
その他営業費用	2,502,182	
一般管理費	2,088,759	
営業利益		283,685
営業外収益		39,634
受取配当金	19,472	
受取利息	14,713	
雑益	5,447	
営業外費用		36,720
株式交付費	35,001	
雑損	1,718	
経常利益		286,599
特別利益		32,782
投資有価証券売却益	18,272	
貸倒引当金戻入	14,510	
特別損失		34
有価証券償還損	13	
投資有価証券売却損	21	
税引前当期純利益		319,346
法人税、住民税及び事業税	90,878	
法人税等調整額	3,853	94,732
当期純利益		224,614

(記載金額は千円未満を切捨てております。)

# 株主資本等変動計算書

〔 2022年4月 1 日から  
2023年3月31日まで 〕

(単位：千円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益準備 金	利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
						別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期末残高	1,000,000	566,500	—	566,500	179,830	5,718,662	7,083,746	12,982,238	14,548,738
当期変動額									
新株の発行	5,000,284	5,000,284		5,000,284					10,000,568
剰余金の配当							△10,695,142	△10,695,142	△10,695,142
当期純利益							224,614	224,614	224,614
資本金からその他資本剰余金への振替	△5,900,284		5,900,284	5,900,284					
資本準備金からその他資本剰余金への振替		△5,566,784	5,566,784						
別途積立金の取崩						△5,718,662	5,718,662		
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額 (純額)									
当期変動額合計	△900,000	△566,500	11,467,068	10,900,568	—	△5,718,662	△4,751,865	△10,470,528	△469,960
当期末残高	100,000	—	11,467,068	11,467,068	179,830	—	2,331,880	2,511,710	14,078,778

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	228,697	228,697	14,777,435
当期変動額			
新株の発行			10,000,568
剰余金の配当			△10,695,142
当期純利益			224,614
資本金からその他資本剰余金への振替			
資本準備金からその他資本剰余金への振替			
別途積立金の取崩			
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額 (純額)	△72,798	△72,798	△72,798
当期変動額合計	△72,798	△72,798	△542,758
当期末残高	155,899	155,899	14,234,677

(記載金額は千円未満を切捨てております。)

## 個別注記表

当社の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書は、「会社計算規則」（平成 18 年法務省令第 13 号）の規定のほか、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成 19 年総理府令第 52 号）により作成しております。

なお、記載金額は、千円未満の端数を切捨てております。

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) その他有価証券

- ① 市場価格のない株式等以外のもの  
決算日の市場価格等に基づく時価法を適用  
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は総平均法により算定)
- ② 市場価格のない株式等  
総平均法による原価法

#### 2. 固定資産の減価償却方法

##### (1) 有形固定資産

定率法により償却しております。ただし、1998 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに 2016 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 …	15 ～ 18 年
器具備品 …	4 ～ 15 年

##### (2) 無形固定資産

定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5 年）に基づき償却しております。

#### 3. 引当金の計上基準

##### (1) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

## (2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定年数（5年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

## (3) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、当社規程に基づく期末要支給見積額を計上しております。

## 4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約に基づく主な履行義務の内容及び収益を認識する通常の時点は次のとおりであります。

### (1) 委託者報酬

委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき、投資信託財産の日々の純資産総額に対する一定割合として日々認識され計上します。成功報酬は、一部の投資信託につき、契約で指定された日に一定の条件を満たし支払われることが確定した時点で認識され計上します。

### (2) 運用受託報酬

運用受託報酬は、投資一任契約に基づき、契約残高に個別の契約で定めた報酬料率を乗じて算出された金額を日々認識し計上します。成功報酬は、個別の契約で定める水準を上回る超過運用益に対して支払われることが確定した時点で認識され計上します。

### (3) 投資助言報酬

投資助言報酬は、投資助言契約に基づき、個別の契約で定める契約残高に報酬料率を乗じて算出された金額を日々認識し、計上します。

## 5. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

## 2. 会計方針の変更に関する注記

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、計算書類に与える影響はありません。

### 3. 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

#### 繰延税金資産（負債）

(1) 当事業年度の計算書類に計上した金額

繰延税金負債 18,513 千円

上記の繰延税金負債 18,513 千円は、繰延税金資産 123,394 千円と繰延税金負債 141,907 千円の相殺後の金額であります。

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

繰延税金資産の認識は、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期及び金額により見積っております。当該見積りは、将来の不確実な経済条件の変動などによって影響を受ける可能性があり、実際に発生した課税所得の時期及び金額が見積りと異なった場合、翌事業年度の計算書類において、繰延税金資産の金額に重要な影響を与える可能性があります。

### 4. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産から控除した減価償却累計額は、204,816 千円 であります。

### 5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
普通株式	554,701 株	577,400 株	554,701 株	577,400 株
A 種優先株式	—	554,701 株	—	554,701 株
合計	554,701 株	1,132,101 株	554,701 株	1,132,101 株

(注1) 当事業年度の普通株式の増加株式数の 577,400 株は、SBI ファイナンシャルサービス株式会社を割当先とする第三者割当増資を実施したことによるものであります。

(注2) 事業年度の普通株式の減少株式数の 554,701 株及び、A 種優先株式の増加株式数の 554,701 株は、株式会社岡三証券グループが保有する当社普通株式を A 種優先株式へ変更したことによるものであります。

(2) 配当に関する事項

(配当金支払額)

① 金銭による配当

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たりの配当額	基準日	効力発生日
2022年6月21日 定時株主総会	普通株式	22,188千円	40円	2022年3月31日	2022年6月22日
2022年11月11日 臨時株主総会	普通株式	10,000,000千円	18,027円	2022年11月16日	2022年11月17日

② 金銭以外による配当

決議	株式の種類	配当財産の種類	配当財産の帳簿価格	1株当たりの配当額	基準日	効力発生日
2022年11月11日 臨時株主総会	普通株式	有価証券	672,954千円	83円33銭	2022年11月11日	2022年11月14日

(注)2022年11月11日の臨時株主総会において、金銭配当及び当社が保有する株式会社岡三証券グループの株式8,075,180株(総額672,954千円)を株式会社岡三証券グループへ現物配当をすることを決定し、2022年11月14日に実施いたしました。

- ③ 基準日が当事業年度に属し、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの  
該当事項はありません。

## 6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

### 繰延税金資産

退職給付引当金	101,445千円
役員退職慰労引当金	1,943千円
賞与引当金	4,271千円
その他有価証券評価差額金	6,532千円
投資有価証券評価損	3,011千円
資産除去債務	32,310千円
未払事業税	4,871千円
その他	6,466千円
繰延税金資産小計	160,852千円
評価性引当額	△ 37,458千円
繰延税金資産の合計	123,394千円

### 繰延税金負債

その他有価証券評価差額金	△ 88,974千円
未収配当金	△ 2,072千円
資産除去債務に対応する除去費用	△ 26,664千円
前払年金費用	△ 18,347千円
未収還付事業税	△ 5,848千円
繰延税金負債の合計	△ 141,907千円
繰延税金資産（負債）の純額	△ 18,513千円

## 7. リースにより使用する固定資産に関する注記

### (1) ファイナンス・リース取引

該当事項はありません。

### (2) オペレーティング・リース取引

(借主側)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：千円)

	当事業年度 (2023年3月31日)
1年以内	252,205
1年超	693,564
合計	945,769

## 8. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社は短期預金、未収委託者報酬、投資有価証券等の金融資産を有しております。一方、未払金（未払手数料）等の金融負債を有しております。なお、デリバティブ取引は行っておりません。

これらの金融資産に関わるマーケットリスク、取引先リスク、流動性リスク、並びに金利変動リスク等を管理するため、社内規程等に従い、ポジション枠や与信枠等の適切な管理に努めております。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

2023年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等は含めておりません。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 投資有価証券	1,005,333	1,005,333	—
(2) 差入保証金	257,258	257,036	△ 221

※「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払金（未払手数料）」等は、短期間で決済されるため、時価は帳簿価格と近似するものであることから、記載を省略しております。

※「差入保証金」は、合理的に見積りした差入保証金の返還予定時期に基づき、リスク・フリーレートで割引率を算出し割引計算をしております。

### (注) 市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

(単位：千円)

	貸借対照表計上額
非上場株式	115,691

非上場株式については市場価格がないことから「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 2020年3月31日）第5項に基づき、時価開示の対象とはしておりません。

### (3) 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価  
時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場

合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

① 時価で貸借対照表に計上している金融商品

(単位：千円)

	時価			
	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合計
投資有価証券	318,335	686,998	—	1,005,333
差入保証金	—	257,036	—	257,036

② 時価で貸借対照表に計上している金融商品以外の金融商品

「現金及び預金」、「未収委託者報酬」、「未払金（未払手数料）」等は、短期間で決済されるため、時価は帳簿価格と近似するものであることから、記載を省略しております。

(注 1) 金融商品の時価の算定方法

投資有価証券

これらの時価について、上場株式は取引所の価格、債券は取引所の価格又は日本証券業協会が公表する価格等によっております。

(注 2) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

株式等については、主たる取引所の最終価格を時価としており、レベル 1 の時価に分類しております。

非上場投資信託については、委託会社から提示された基準価額等によっており、主に信託財産の構成物のレベルに基づきレベル 2 に分類しております。

差入保証金については、合理的に見積りした差入保証金の返還予定時期に基づき、リスク・フリーレートで割引率を算出し割引計算をしており、レベル 2 の時価に分類しております。

## 9. 関連当事者との取引に関する注記

属性	会社等の名称	所在地	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関係当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
その他関連会社	岡三証券株式会社	東京都中央区	証券業	-	当社ファンドの募集取扱	支払手数料の支払	2,718,939	未払手数料	532,414
その他関連会社	株式会社岡三証券グループ	東京都中央区	証券業	(49%)	資金貸付	資金の返済	貸付金 5,000,000 受取利息 14,367	-	-

- (注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。
2. 取引条件及び取引条件の決定方針  
過去の取引条件及びファンドの商品性を勘案して決定しております。
3. 資金の貸付については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

## 10. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	12,573円68銭
1株当たり当期純利益金額	300円41銭

## 11. 収益認識に関する注記

### (1) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

	(単位：千円)
委託者報酬	9,113,651
残高報酬	9,097,589
成功報酬	16,061
運用受託報酬	19,318
投資助言報酬	27,600
合計	9,160,569

### (2) 収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、「1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記4. 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

(3) 当事業年度及び翌事業年度以降の収益の金額を理解するための情報  
顧客との契約から生じた債権は、以下のとおりであります。

	(単位：千円)
未収委託者報酬	1,311,125
未収運用受託報酬	10,800
未収投資助言報酬	11,876
合計	1,333,802